

令和2年度 学校評価書

学校法人脇谷学園 静岡南幼稚園

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		評価	幼稚園の取組・反省と改善策	評価	評価・意見
教育課程・指導方法	園で目指す教育方針を理解し教育を進める。	B	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりとの関わりを丁寧にし、生き生きとした自分らしさを身に付けられるようにしてきた。その子の個性が発揮できるよう、子どもの育ちを一番に考え、日々の教育活動が充実するよう取り組んできた。 行事だけでなく園内外の諸活動も多いので、日々の教育活動計画・準備等に余裕がなかったため、次年度からはもう少し行事(遠足等)を精選し、内容の変更など検討していきたい。 スイミングや英語あそび・あそびっこ等を、日常の教育活動に導入していることが、外部の人に認識されてきている。保護者の方も、そうした点が魅力と感じ、入園を希望する方もいる。園としても、更なる教育活動の充実と、時代が求める教育活動を積極的に展開し、本園の特色としてアピールしていきたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が「〇〇して遊んだ」「楽しかった」と言っている子が多く、そうした様子から、先生方が園目標を目指し頑張っていることがわかった。静岡南幼稚園は、一人ひとりの個性を尊重し見守り、寄り添って教育活動を行っている所が評価に値する。 職員の協力体制を整え、教育活動や仕事量の配分等の見直しを実施し、より効果的な教育活動を展開してほしい。 家庭ではなかなか体験できない事を取り入れていく事は、幼稚園のアピールにも繋がると思うので、幼稚園の方針や新型コロナウイルス感染拡大の中での教育活動の制約もたくさんあると思うが、保護者のニーズにできる限り答えていく事も大切である。
健康・安全	安全教育と安全点検を実施する。	B	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の安全確保のため、防犯カメラを7か所設置している。来訪者には、正門でインターホンを必ず押してもらい、顔を確認して 	B	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の安全確保のために、遊具や園舎内外の安全点検を定期的にお願したい。 設備の老朽化が心配とのことだが、専門業者によ

			<p>から入ってもらうようにしている。また、その際、鍵の開け閉めも忘れずをお願いしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児の避難訓練、担当者による安全点検を適切かつ定期的に実施した。園庭の遊具だけでなく、施設整備等の老朽化が進行しているので、対応策を年度進行で計画していくことが必要である。 ・園外活動・遠足等、園外へ出ることも多いので事前に目的地や道のり等の下見をし、安全の確認をしてきた。又、登降園の際も交通ルールを守り、子ども達自身にも確認させ、身につくようにしている。不審者の対応についても、教職員の連携を考えていきたい。 		<p>る点検も検討したらどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園外保育、遠足などの行事はとても良い経験になっていると評価する。その際は、園児はもとより、教職員も安全に行ってこれるよう配慮されたい。
子育て支援	子育て支援の活動に積極的に取り組む。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で楽しく体を動かしたり、友達と遊ぶ楽しさも体験できるよう、今年度は「親子体操」7回、「親子ふれあい子育て広場」6回を計画したが、新型コロナウイルス感染症予防の為、回数を減らした。 ・教員の数が減少したため、昨年度実施した「りんごちゃんルーム」、新たに未就園児の一時預かり保育「ちびっこくじゃく」や満2歳児対象とした「いちごちゃん」等は実施しなかった。好評だっただけに残念だった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児と保護者には幼稚園に何回も足を運んでいただき、園の教育活動や雰囲気などの良さを知ってもらい、少しでも多くの園児の確保につながるよう努力されたい。今後、ますます園児数減少傾向が続くので、関係者の協力を得ながら、園児数の獲得に努められたい。

特別支援	支援が必要な子、気になる子への対応をすると共に、特別支援計画をたて実行する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、支援が必要な園児や気になる園児が増加傾向にある。教職員は、個々園児に対して、丁寧に関わりを持ち、その子らしさを大切に、自信が持てるように援助してきた。また、担任だけでなく級外もサポートしてきたが、個々に合わせた教育活動を展開していくことは難しかった。 ・パツツやハッピーテラス、保健センター等と日常的に子どもの姿の情報交換を行い、保護者も含め協力して、問題を抱える園児に対処していくようにしてきた。 ・発達障害児の個別指導計画書を作成し、その子にあった指導を心掛けるように配慮している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今までも「静岡南幼稚園は教職員が子どもを丁寧にしっかりと見て対応してくれるから安心」という評価を得ている。今後も、指導上大変なところもあるが、個々の子供たちの個性を伸ばし、その子らしく伸び伸びと楽しく園生活を送れるよう補助や対応を引き続き努力されたい。 ・関連機関や保護者との情報交換は、重要である。子どもが安心して就学できるよう、早めに小学校との連携を密にし、一人ひとりの子どもの特性に応じて支援について相談し合えるような体制づくりを進めていってほしい。
教育環境	楽しんで取り組める環境作りの工夫をする。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達は様々なことに興味関心を示し、楽しんで活動や遊びを行っている。日々の教育活動において、子どもたちの持つ発想やアイデアをいかした活動をするよう意識してきた。 <p>しかし、日々の業務に追われ、教材研究ができなかったり、次の日の環境整備や活動準備が出来ず、時間が足りなかった現実もあるので、もう少しゆとりを持てるよう努力していきたい。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりを持って計画的に保育を進められるよう対策を検討されたい。

地域交流	地域の諸団体や地域住民との交流・連携を図る。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・例年行われている中田本町「いきいき会」、デイサービススマイル、社会福祉法人葵寮等との交流活動については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した。 ・地域にあるフレンチレストラン「セラヴィ」のフードロス活動の一助となるよう、保護者会に合わせて、特製のいちごのかき氷を提供してもらい、地元放送局の取材も入った。 ・地域の塗装会社のアプリメイクの協力で、本園正門横の「くじゃく」のオブジェに、年長児の代表の子がペンキ塗りをした。この件に関しても、テレビ局やコミュニティー誌の取材を受けることができた。 	A <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナウイルスの影響で地域でも様々なことが延期や中止になったとの報告を受けた。老人会や高齢者の方は、子ども達との交流会を楽しみにしていたようだが、やむを得ない状況であったと判断される。コロナウイルス感染拡大が沈静化したら、行事などに一緒に参加し交流する機会を持たれたい。 ・様々な方法で幼稚園を知ってもらうことはよいと思う。外部の方との関わりは子ども達にとっても刺激になり、良い経験、体験になるので、今後も交流の場を設けてほしい。
情報提供	園の情報に関する発信を積極的に行う。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園案内、ホームページ、インスタグラム、フェイスブックなどの写真の記載について、保護者の承諾を得て実施しているが個人情報の問題もあり制限される現状がある。 ・園のお知らせや毎月の園だより、学年だよりを作成し、定期的に園の様子や情報を知らせしている。 ・子ども達の様子を随時お知らせできるよう、ホームページ等の更新をしてきたが、タイムリーな情報発信がなかなか出来なかった。 	B <ul style="list-style-type: none"> ・世の中の流れとして、保護者の方も、お子さんの園での様子が気になると思うので、随時見やすく情報発信してあげることが望まれる。また未就園児等に静岡南幼稚園の魅力をアピールしていくことにもつながると思うので、ホームページやSNSのツールを積極的に活用されたい。 ・個人情報や園の情報を発信することに対し、保護者の考え方も様々だと思うが、迅速な情報更新を求めたい。